

外部評価結果（総括）

【評価結果】

■問題や不十分な点はない。

□一部問題や不十分な点がある。

□全体的に不十分であるか、一部に重大な問題がある。

〔実施状況に関するコメント〕

北信がんプロの今年度の目標人数を正規コース、インテンシブコースとも上回って履修生を確保して、順調な滑り出しをしました。E-ラーニングの教材を準備し、オンコロジーセミナーやIPW 緩和ケア事例検討会などの実践的な学びの場が提供され、教育内容も工夫されています。北信がんプロの達成目標でもある「地域医療機関への定着率 50%以上」をめざして、次年度以降も引き続き、大学院生の確保と質の高い教育に尽力頂きたいと思います。また、市民や患者、地域社会や地域医療機関との交流を密にさせていただき、情報発信・意見聴取にも尽力頂きますようお願いいたします。

（優れた点）

- ・4つの委員会を設置してしっかりした運営体制の元、事業を展開しています。
- ・各大学、正規およびインテンシブの各教育コースについて、目標を上回る履修生を確保しました。
- ・3つのテーマに幅広く多くの E-ラーニング教材を準備しました。
- ・オンコロジーセミナーや IPW 緩和ケア事例検討会など実践的な学習環境の提供に努めました。特に IPW 緩和ケア事例検討会は多職種の参加を得て、意義深い会と評価できます。
- ・セミナー・市民公開講座も活発に開催して、医療者や市民への情報発信に努めました
- ・ホームページを見やすいものに改変しました

（改善を要する点）

- ・E-ラーニングによる学習効果の評価をして頂きたい
- ・患者会との企画を行い、患者の声を聞いて問題点を見出す機会をさらに作ることが望まれる
- ・セミナー・研修会の参加者のアンケート調査を行うとともに、その教育盛衰や人材育成についての実績を示して頂きたい
- ・北信地域でできるだけ人材育成の均てん化が図れるように、大学間の交流をさらに考慮頂きたい
- ・セミナー・市民公開講座はさらに多くの地域の人が参加・視聴できるように配慮頂きたい

外部評価結果（委員提出用）

氏名（署名）： 松浦 成昭

【評価結果】

☒ 問題や不十分な点はない。

☐ 一部問題や不十分な点がある。

☐ 全体的に不十分であるか、一部に重大な問題がある。

〔実施状況に関するコメント〕

今年度は第4期がんプロの実質的な初年度にあたる年でしたが、各大学のすべての正規コース、インテンシブコースで履修者が目標値を達成したことを高く評価します。教育の基礎となるE-ラーニングの教材も各大学が分担して多数のコンテンツをそろえました。また、オンコロジーセミナー、IPW 緩和ケア事例検討会も多くの参加者を得て、活発に実施しました。北信がんプロ全体の市民公開講座も開催し、ホームページその他で、様々な形で、一般市民への発信に努めた点も評価されます。滑り出しとしては上々と思いますので、引き続き次年度も頑張っていると思います。

（優れた点）

- ・運営体制として次世代北信がんプロ運営協議会が全体を管轄して、その下にある4つの委員会がそれぞれ進捗管理をしている体制で、優れた運営体制と評価します。
- ・がんプロは人材育成事業なので履修生の数が最も重視されます。その点で、初年度から全大学ですべての正規コース、インテンシブコースで目標を上回る履修生を確保したことは高く評価されます。各大学、各コースの担当者の熱意と努力に敬意を表します。
- ・教育コースの職種も医師・看護師・薬剤師・医学物理士・細胞検査士・認定遺伝カウンセラーとバラエティに富んでおり、特に金沢大は多職種の教育コースをそろえて頂きました。
- ・外部からの意見を取り入れてテーマ1の腫瘍循環器コースを富山大学に設置したことは、外部の意見も傾聴しながら事業を進めている証です。
- ・各大学が分担協力して、多数のE-ラーニングの教材を作成されたことも特筆ものです。
- ・多職種連携演習であるオンコロジーセミナーを8回、IPW 緩和ケア事例検討会を6回、計画通りに実施しており、多数の多職種の参加者を確保していることも評価されます。

・大学院生交流セミナーは大学間の交流の意味で素晴らしい取り組みと思います。がんプロ経験者にも参加をしてもらうことは大きな意義があると思います。優秀発表の表彰は良い刺激になったことと思います。

・オンコロジーセミナー、IPW 緩和ケア事例検討会以外にも各大学が独自にたくさんのセミナーを実施しました。特に長野県立看護大学の「がん看護アドバンス研修」「長野がん看護/家族看護研究会は素晴らしい取り組みです。福井大学の「がん医療スキルアップセミナー」も優れた取り組みです。金沢大学・富山大学・金沢医科大学の共催の形でセミナーを開催したことは評価したいと思います。

・市民向けの発信として、福井大学が中心となって北信がんプロ合同市民公開講座も良い内容で素晴らしいイベントです。金沢大・金沢医大・富山大も独自に市民向けの講演会を実施しました。

・北信がんプロホームページは改変いただき大変見やすく内容もよくなったと思います。また、北信がんプロホームページからリンクされている長野県立看護大・福井大・富山大・金沢医大の各ホームページも良くていて、発信力があると思います。

（改善を要する点）

・第4期がんプロの実質的な初年度でしたが、順調な滑り出しで全体として改善を要する点はありません。次年度も履修生を確保して、教育の質を保ち人材育成に励んで頂くことを期待します。

・北信がんプロのポンチ絵にもあります（「Colors 等と連携」とあります）が、次年度は患者会と連携したイベント（あるいは患者にも参加してもらってのディスカッション）を考慮頂ければと思います。

・ホームページは優れていますが、今後、がんプロの成果（履修生の人数だけでなく）を発信できればさらに良いと思います。「実績報告」の欄がありますが、第3期がんプロ時代の学生の報告が掲載されているだけです。これも残してよいと思いますが、現在の学生の報告はまだ無理でしょうか？オンコロジーセミナーやIPW 検討会の報告でもよいと思います。

（お願いしたい点）

・各大学のセミナー・市民向け講演会などのイベントはできるだけアンケートを取って、人数・職種・大学や満足度などを調べて頂ければと思います。オンコロジーセミナー・IPW 事例検討会は北信がんプロ全体にとって大切なので、人数だけでなく、職種・大学・評価を調べて下さ

い。

・文科省の推進委員会でも指摘されてましたが、養成職種が金沢大以外は少なく、できるだけ大学間の連携が求められていますので、交流が盛んであるという印象を与える調査結果とイベントを考えて頂ければと思います。

・外部評価委員会ではプレゼンの資料だけでなく以下のものも準備（あるいは後送）して頂けないでしょうか？プレゼンは時間や枚数もあるので、アピールしたい点が中心になるのは致し方ありません。一方、がんプロの事業全体を拝見したいので、もう少し細かい資料もプレゼン資料と別に頂ければありがたいです。

1) 履修生の専門資格取得状況、就職先（第4期がんプロはまだ修了生が出ていませんが、第3期がんプロが動いていると思いますので、それも教えて頂ければと思います）。この意味では金沢大に5名が細胞検査士を取ったことは素晴らしいと思います。

2) セミナー・講演会などの案内チラシ。プレゼン資料に貼り付けていますが、全部ではないと思いますし、内容が見えないものもあります。

3) セミナー・講演会などの参加者の調査・分析の結果も調べて教えて頂ければと思います（上記）。北信がんプロの特長として地域医療機関との連携がよいと思われますので、この調査から地域医療機関と連携・交流していると発信できると思います。

4) 論文・学会発表等の業績リスト：がんプロ大学院生の activity の参考になりますので、これらも提示して頂ければと思います。共著者でもよいと思います。

・ホームページでは、信州大学がんプロのホームページが第3期がんプロから更新されていないので、他の大学同様に、新規がんプロのホームページを作成頂きたいと思います。

外部評価結果（委員提出用）

氏名（署名）：馬場英司

馬場英司

【評価結果】

☒ 問題や不十分な点はない。

☐ 一部問題や不十分な点がある。

☐ 全体的に不十分であるか、一部に重大な問題がある。

〔実施状況に関するコメント〕

北信がんプロ事業を実施するにあたり、4つの委員会を設置しそれぞれの分野について責任を持って事業を推進しています。その結果、拠点全体として連携した活動の実績が上がり、貴拠点が方針として掲げられているシームレスながんプロ教育が実現できていると考えます。次世代のがんプロ事業で育成を目指している人材の3つのテーマについて、それぞれの大学においてバランス良くコースが設定されています。各大学は昨年度の準備期間を経て、魅力的ながんプロ教育のコースを設置し履修生の獲得に努めた結果、いずれのコースにおいても履修生を確保し、目標数を上回ったことは高く評価されます。それぞれの大学や地域の特徴に合わせた人材育成の目標を設定し、それに沿った教育を的確に実施していると考えます。

（優れた点）

教務委員会を中心に大学間で協力し、3つのテーマの全ての分野についてのE-ラーニングの教材を作成して、すでに全国に提供していることは優れた実績といえます。各大学の大学院生が対面で交流するセミナーでは多くの演題が発表され、優れた演題を表彰するなど意義深い行事と考えます。また長野県看護大学が主催するIPW緩和ケアコース多職種協働事例検討は、看護師だけでなく、医師、薬剤師など多職種が毎回多数参加し、頻繁に開催されており、これも大学間連携が深まる重要な事業と思います。金沢大学は特に7つの大学院正規課程コース、3つのインテンシブコースを設置し、次世代のがんプロプランの求める人材養成に向けて成果が期待されます。信州大学では新規がん治療を開発できる人材として、CAR-T療法の研究を積極的に進めており、これにがんプロ履修生が関わることは重要と思います。富山大学では腫瘍循環器領域や生殖医療の専門家の育成を目指すなど、独自性が見られます。福井大学では地域の特徴に対応したがん専門人材の育成と、その社会への情報提供の努力がなされていることに感銘を受けました。金沢医科大学を中心とした広範囲のがん関連データベース作成事業の成果が期待されます。

（改善を要する点）

全体の活動として医師会、自治体、患者会などとの連携が掲げられていますので、その様子が具体的に示されれば良いと思います。またデータベース委員会の活動も、よりがんプロとの関係が明確になることを期待します。がんプロ事業として、他拠点との合同事業、国際的な活動についても今後ご検討頂ければ幸いです。

外部評価結果（委員提出用）

氏名（署名）：河原 昌美

【評価結果】

■問題や不十分な点はない。

□一部問題や不十分な点がある。

□全体的に不十分であるか、一部に重大な問題がある。

〔実施状況に関するコメント〕

令和6年度は、各大学が事業に積極的に取り組み多くの成果をあげたことが高く評価できる。次年度は、これらの成果によって育成されたがんプロ履修生が、北信がんプロの達成目標でもある「他医療機関への定着割合 50%以上」を目指し、全てのがん患者と家族が安心して医療を受けることができるよう、裾野を広げた活動の開始を期待したい。

正しいがん医療を推進するためには、医療従事者だけでなく、市民や患者との双方向の情報共有が大きな推進力となると考えられる。北信がんプロ履修生のさらなる活動の場のひとつとして、体制整備が望まれる。

（優れた点）

金沢大学：e-leaning をはじめとし、計画に従い順調に事業を展開している

信州大学：新規治療法開発研究および遺伝カウンセラー養成への取り組み

富山大学：腫瘍循環器学コース開設、生殖医療啓発講演会開催

福井大学：がん診療の情報冊子改訂、専門医 MAP 作成によるシームレスな医療体制作り

長野看護大学：認定看護師育成実績、他職種による症例検討研修の充実

金沢医科大学：人材育成に向けた研修会開催、データベース事業の計画

（改善を要する点）

・大学院正規課程コースのうち、医療職及び医療職以外を対象としたコースで、実際の入学者の職種状況が不明で、今後のチームへの還元が見えにくい部分がある。薬学部がある大学においては、実臨床で薬物治療に貢献する薬剤師養成のさらなる活性化を期待したい。

・多方面の研修会開催による成果や人材育成への貢献について具体的な実績報告を期待する。

・市民や患者の声を聞き、情報共有することで、隠れた問題点を見出す機会が望まれる。

外部評価結果（委員提出用）

氏名（署名）： 牧野智恵

【評価結果】

☐問題や不十分な点はない。

☒一部問題や不十分な点がある。

☐全体的に不十分であるか、一部に重大な問題がある。

〔実施状況に関するコメント〕

・金沢大学をはじめとして、各大学が連携を取りつつ、がん医療人の育成に尽力している様子
がうかがえた。各大学院への入学者やインテンシブコースへの入学者数も予定以上であり、大
いに評価でき素晴らしいと思う。この人数の継続を。

・3期までの修了生（がん看護専門看護師、医師）に講師などを依頼し、教育に生かしている
点がいいと思った。

・長野県看護大学での、事例検討会には、看護師だけでなく、医師や多職種の関係者が参加
し、3時間もの意見交換ができていることは素晴らしいと思う。3期までのがんプロで課題だ
った内容を踏まえて実施できている。

（優れた点） 私は看護者なので、主にその視点からのコメントをさせていただきます。しか
し、ゲノムやがん治療などの発展のために各医学部が尽力していることは、過去の3期の様々
な意見を考慮しており高く評価できます。

・まだ2年目にして、本科生、インテンシブコースともに予定人数を大きく超えていることは
評価できる。

・福井大学が実施した、市民公開講座での参加者が、130名とリモートからも90名と、多く
の参加者が多いことは評価できる。特に、会場にはほぼ患者さんやその家族であり、患者のた
めの市民公開講座になっていたと思う。

福井大学が、中小の教員を対象にがん教育を実施していることも、患者の子供へのサポー
トにつながり、いい企画である。他県も是非実施してほしい。

・信州大学の遺伝カウンセラーコースの実施も今後パネル検査の結果を受け不安な人も多くな
ることを考えると、大切なコースであり評価できる。

5名の細胞検査師の合格も評価できる。

・長野県立看護大学での、IPW緩和ケアコースで、医師、看護師、薬剤師などの多職種が参
加し、3時間にわたりディスカッションして言うことは、今後のチーム医療の発展のためにも
評価できる。

(改善を要する点)

- ・今回の北信がんプロの特徴の一つである、「シームレスな医療を担う人材育成」の特徴を出したプログラムがあるとさらにいいと思う。
- ・大学院交流セミナーの開催はこれまでも実施しており、さらにパワーアップしているので評価できる。できれば看護師の本科生も参加してほしかった。
- ・今後、患者会やがんサロンなどとのジョイント企画を実施し、患者の生の声にこたえる企画などを実施すると、より患者の意見に沿ったがん医療人育成につながると思う。
- ・長野県看護大学の教育はとても頑張っているが、事例検討会などのポスターの案内を、石川県内、富山県内、福井県内のがん拠点、がん連携病院、一般病院などにも案内し、看護師のレベルアップに力をさらに入れるといい。今は、長野県内が中心のように感じるので。

外部評価結果（委員提出用）

氏名（署名）：真島喜幸

【評価結果】

☒問題や不十分な点はない。

☐一部問題や不十分な点がある。

☐全体的に不十分であるか、一部に重大な問題がある。

全体の実施状況

次世代北信がんプロ養成講座は、北信地域におけるがん医療の専門人材を育成するために、多職種・多施設の連携を重視した包括的なプログラムとして実施されています。

特に、大学院正規課程 162 名、インテンシブコース 319 名の履修生受け入れを達成しており、目標に向けて順調に進んでいることが伺えます。

また、オンコロジーセミナーや IPW 緩和ケア事例検討会といった実践的な学びの機会が提供され、履修者が現場で活用できるスキルを獲得できるよう工夫されています。さらに、市民公開講座や大学院生交流セミナーの開催を通じ、地域社会への情報発信と研究者の交流が促進されている点も評価できます。

（優れた点）

・多職種連携を意識したカリキュラム

がん医療には、医師だけでなく、看護師、薬剤師、栄養士、臨床検査技師、カウンセラーなどの専門職の連携が不可欠である。本プログラムは、がん薬物療法、緩和ケア、遺伝カウンセリングなど、多岐にわたる専門コースを設けることで、がん医療の多職種チーム育成に貢献している点は高く評価できます。

・実践的な学習環境の提供

E-learning を活用した基礎学習に加え、オンコロジーセミナーや IPW 緩和ケア事例検討会など、現場での応用力を高める機会が充実しています。特に、セミナー参加者数が多く、活発な学びの場となっていることが伺える内容なので評価できます。

・地域医療の充実を目的とした人材育成

本プログラムの大きな特徴は、「がん患者が居住地域でシームレスに診断・治療・終末期医療を受けられる体制」を目指している点です。難解な課題である履修者の地域医療機関への定着割合について、50%以上という高い目標を掲げ、北信地域全体のがん医療向上に貢献しようとする姿勢が明確な点は高く評価できます。

・がん予防・治療・緩和の各フェーズに対応

がん医療の課題に対応するため、がん予防、診断、治療、新たな治療法開発まで幅広い視点で講義が構成されている。特に、CAR-T 療法や免疫チェックポイント阻害治療などの最新治療にも対応しており、将来のがん医療を支える人材育成につながる内容となっている点は高く評価できます。

(改善を要する点)

・履修者の地域偏在の解消

現在、履修者の数は一定数確保されているが、特定の大学やコースに集中している傾向が見られます。特に、金沢大学や長野県看護大学の受講者数が多い一方で、一部の大学の履修者が少数にとどまっています。今後、地域全体で均等な人材育成を図るための取り組み、例えば、遠隔講義の活用や他大学との合同研修の強化などがさらに開発されることが望まれます。

・E-learning の活用促進と学習効果の評価

E-learning を活用した学習環境は優れていますが、学習効果の評価方法が明確でない部分があります。例えば、履修者の習得度を測るための定期的な理解度チェックや修了時の簡単なクイズを導入することで、学習成果をより可視化してみるのも良いと思います。

・市民公開講座のさらなる拡充

がん医療は、医療従事者だけでなく患者・家族、一般市民にも関わる重要なテーマです。現在、市民公開講座が開催されていますが、より多くの市民が参加できるよう、オンライン配信の強化（例えば、市民公開講座を配信する北信がんプロ専用 YouTube チャンネルの開設等）や地域別の開催を検討すると、より広い層へ情報発信が可能になると思います。

施設別評価：

1. 金沢大学

金沢大学のがんプロは、多職種の専門人材を育成し、がん医療の発展に大きく貢献しています。博士・修士課程を通じ、医師・薬剤師・診療放射線技師・看護師など多様な分野の専門家を養成し、特に放射線・粒子線治療やがん予防分野の教育に強みを持ちます。

（優れた点）

- 目標達成率の高さ（放射線診療コースは 11/5 など）
- e-learning 教材開発・オンコロジーセミナー開催
- 資格取得者の輩出（細胞検査士 4 名）

（改善点）

- 一部コースの受入数不足（遺伝カウンセラーなど）
- 修了生のキャリアフォロー強化
- 教育プログラムの実績可視化と全国的な連携強化

今後、受講者の拡充と教育成果の発信を強化し、さらなる発展が期待されます。

2. 信州大学

信州大学のがんプロは、特に遺伝カウンセリングとがん免疫療法の分野に強みを持つ教育プログラムを提供し、北信地域におけるがん医療の発展に貢献しています。がん予防や新規治療法開発に特化した修士・博士課程コースを設置し、遺伝カウンセラーや創薬研究者の養成に注力しています。CAR-T 療法を中心とした遺伝子・細胞治療の研究も活発で、大学発の臨床試験も推進しています。

（優れた点）

- 国内初の「がん診療に詳しい認定遺伝カウンセラー」養成（25 名輩出）
- CAR-T 療法を中心とした遺伝子・細胞治療の臨床研究
- 米国ベイラー医科大学との国際連携
- e-learning 教材やオンコロジーセミナーでの学習機会提供

（改善点）

- 受入目標人数の少なさ（修士 1 名/年、博士 2 名/年）が見られるので、さらなる拡充が必要
- 修了生のキャリアパスの詳細な追跡・支援強化
- 全国的な教育・研究機関との連携強化

今後、プログラムの規模拡大と成果の発信を強化し、より多くの人材育成に貢献することが期待されます。

3. 富山大学

富山大学のがんプロは、チーム医療の充実と地域貢献を重視した教育プログラムを展開し、がん医療の多職種連携を推進しています。特に「腫瘍循環器学コース」など新規領域にも取り組み、受入目標数を超える登録者

を確保するなど、教育体制の拡充が評価できます。また、e-learning 作成を統括し、次世代北信がんプロ全体の教育基盤強化にも貢献しています。

(優れた点)

- チーム医療・地域医療に特化した教育コース設置 (目標超えの受入実績)
- e-learning 作成の統括により、教育資源の整備を推進
- 市民公開講座や生殖医療啓発 など、一般向け教育活動が活発 オンラインコンサルテーション導入計画により、地域医療への貢献を強化

(改善点)

- リモートコンサルテーションの実装 (クラウド導入の調整を進める)
- 修了生のキャリア支援強化 (卒業後の進路追跡とネットワーク形成)
- 全国的な連携強化 (他大学・研究機関との共同研究や教育プログラムのシナジー向上)

今後、遠隔医療の実装や卒業生支援を充実させ、地域と全国レベルでのがん医療人材育成をさらに強化することが期待されます。

4. 福井大学

福井大学のがんプロは、市民教育とがん診療の最前線を伝える活動を強化しており、地域社会への貢献が大きな特徴です。特に、合同市民公開講座と「がん診療最前線」講座を統合し、多様ながん治療 (CAR-T 療法、がんゲノム医療、緩和ケアなど) について、専門家が講演を行う形式は高く評価できます。

(優れた点)

- 合同市民公開講座の開催 により、一般市民へのがん知識の普及を推進
- 多様ながん治療をテーマにした講義 (CAR-T 療法、ゲノム医療、緩和ケアなど)
- 他大学との連携強化 による教育・研究の発展

(改善点)

- 大学院生向けの専門教育プログラムにおいて研究者・臨床医育成の体系化が必要
- 教育の全国的な発信の強化 (学術的な成果をより可視化)
- 他大学との共同研究や実践的な連携のさらなる促進

今後、教育プログラムの体系化と全国規模の連携を強化し、より実践的ながん医療人材の育成を推進することが期待されます。

5. 長野県看護大学

長野県看護大学のがんプロは、緩和ケアとがん看護の専門人材育成に特化しており、特に 多職種協働

(IPW) 緩和ケアコースを通じた実践的教育が充実しています。がん CNS (がん看護専門看護師) コースや緩和ケアゼミナールにおいて、多くの大学と連携し、がん看護の質向上に貢献しています。がん CNS コース修了生の認定試験合格率 100% も強みです。

(優れた点)

- がん CNS・緩和ケア分野での専門人材育成 (修了生の高い合格率)
- IPW 緩和ケアコースでの多職種連携教育 (年間 6 回、計 251 名参加)
- 市民・一般看護師向けセミナー開催 (長野がん看護／家族看護研究会)
- 複数の大学と連携し、広域でのがん看護教育を推進

(改善点)

- E-learning 教材の整備が未完成なので早期公開が望まれる
- 大学院入学人数の減少 (2025 年修士 1 名) がみられるので受講者拡大策が必要
- 修了生のキャリア支援強化 (就職先・実務での活躍の追跡)

今後、E-learning の活用と受講者拡大を進めつつ、修了生のキャリアフォローを強化し、がん看護分野のさらなる発展を期待します。

5. 金沢医科大学

金沢医科大学は、新たに北信がんプロに参加し、分子病理とがん遺伝子に基づく個別化医療に特化した教育プログラムを展開しています。2024 年度は正規課程・インテンシブコースの履修生を各 1 名受け入れ、FD 講演会やオンコロジーセミナーを開催するなど、教育・研究の基盤整備が進んでいます。また、院内がん登録データの収集・活用を推進するデータベース事業も特徴的です。

(優れた点)

- がん個別化医療・分子病理学に特化した人材育成 (専門的な教育コースの設置)
- 北信がんデータベース事業の推進 (データ活用による研究基盤強化)
- FD 講演会・オンコロジーセミナーの積極的開催 (専門知識の普及)
- 市民公開講座の実施 (YouTube ライブ配信での情報発信)

(改善点)

- 履修生の受入数拡大 (今後の受講者増加が課題)
- 教育プログラムの体系化 (今後の履修生向けカリキュラムの充実)
- 研究成果の発信強化 (学術論文や学会発表の推進)

現在は基盤整備の段階ですが、今後、履修生の増加と教育・研究のさらなる充実により、がん個別化医療の分野での貢献が期待されます。